



日本体育大(東京)

5 年ぶり 27 度目の優勝!

第 43 回全日本大学男子選手権大会

●平成 20 年 8 月 29 日 (金) ~ 9 月 1 日 (月) ●



大学生たちの全力プレイが光った

大会は、初日から雨の中ではじまり、連日グラウンドは夜半からの雨で、とても使用できる状態ではなかったが、地元協会の皆さんの献身的な働きで見事に整備され、無事全日程を終えることができた。雨と雷に悩まされた毎日であったが、協会・関係者の働きに応え、全力プレイを見せてくれた選手たちには、たくさんの声援が送られ、素晴らしい大会となった。

宮城県東松島市 / 鷹来の森運動公園
日ソ協記録委員 丹羽 米子

ベスト 4 には、大会「3 連覇」をめざす国士館大 (東京)。「覇権奪回」を誓う日本体育大 (東京)。エース・松田を中心に安定した戦いぶりで勝ち上がった京都産業大 (京都)。チーム一丸となり、初優勝を狙う熊本学園大 (熊本) が勝ち上がった。

〈準決勝〉

熊本学園大

0	0	0	1	0	0	1
1	0	0	2	0	0	x
3						1

国士館大

(熊) ●米良・谷川・三丸

(国) ○諸見里・坪松

▽困安井 (国) 目猿渡 (熊)

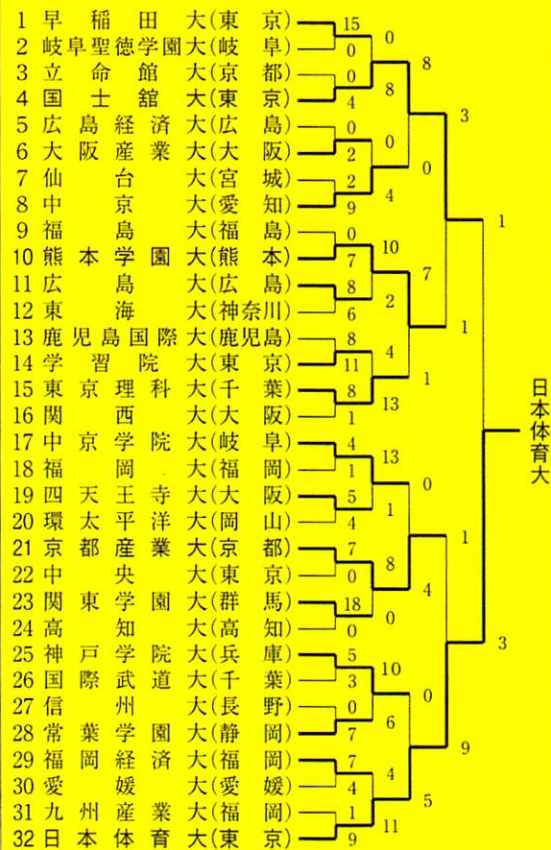
目坪松 (国)

(審) P 武田 1 佐藤 2 木村 3 阿部
(記) 佐藤



攻守にチームを引っ張った国士館・安井

第43回全日本大学男子選手権大会



※大会規定により6回得点差コールド
(日) ○高橋一松本

日本体育大
0 2 2 0 0 5
0 0 1 0 0 0
1 9

〔準決勝〕

後攻の国士館は初回、二死から3番・安井の中越ソロ本塁打で先制。4回裏にも、2本の安打で二死一・二塁と攻め立て、8番・坪松の右中間適時二塁打で2点を追加し、リードを広げた。一方、熊本は5回表に7番・猿渡のレフト線三塁打で1点を返したが、反撃もここまでであった。

一方、京産はエース・松田が準々決

めた。
京産・松田に12安打を浴びせ、9点を奪い、6回コールド勝ちで決勝進出を決めた。

(京) ●松田一田中
▽困筒井、亀田(日)
■堀田(日)
〔審〕P中嶋 1真殿 2高橋 3星
〔記〕松本
日体大は2回表、この回先頭の4番・筒井が先制の左中間ソロ本塁打。5番・松本も安打で続き、三振、内野ゴロで二死二塁とした後、8番・芳賀の適時打で1点を追加。3回表にも3番・堀田、4番・筒井の長短打で2点を加え、6回表には9番・亀田のツーランを含む6安打で5点を挙げる猛攻。

〔決勝〕



好投を続けてきた京産・松田だったが……

勝で完全試合を達成する活躍を見せたが、この試合では日体大打線につかまり、力尽きた。

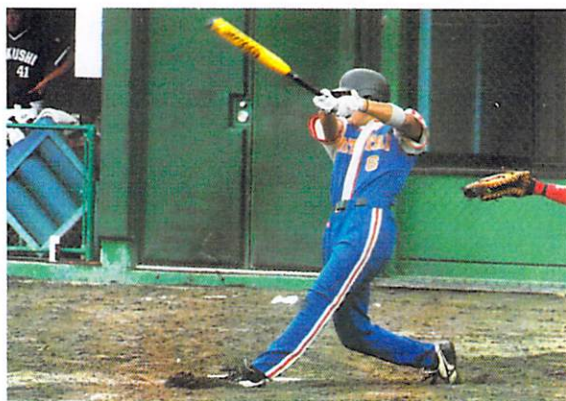
国士館大
0 0 0 0 0 1 0
0 0 0 3 0 0 x
3 1

日本体育大
(日) ●諸見里一坪松
(日) ○高橋一松本
▽国芳賀(日) 国芳賀(日)

〔審〕P荒川 1市川 2阿部 3熊谷
〔記〕松本

ともに日本代表でもある日体大・高橋、国士館・諸見里の投げ合いではじまった決勝戦。

両投手譲らず、試合序盤は投手戦と



4回裏、日体大が集中打で3点を挙げた！

なった。試合が動いたのは4回裏、日体大は4番・筒井が安打で出塁。手堅く犠打で送ると、6番・祝のレフト線へのタイムリーで1点を先制。次打者の内野ゴロで二死二塁とした後、8番・芳賀の左越三塁打で2点目。さらに9番・亀田の内野安打で3点目を追加し、有利に試合を進めた。

一方、国士館は日体大・高橋に5回まで無安打・8三振に抑えられ、6回表に3番・安井の中前適時打で1点を返すのが精一杯。惜しくも大会「3連覇」はならなかった。
日体大は5年ぶり27度目の優勝。投打がガッチリと噛み合い、大会最多の優勝回数を誇る「名門」がついに王座に還り咲いた。